

モザンビークな時間



6時間目 算数

2024/9/24

みなさん、Boa tarde(こんにちは)。20日から現地の小学校で働き始めました。

安則先生を待ち受ける3つのチャレンジ

チャレンジその1「語学」

まずは何といっても語学でしょう。「わかったら手をあげましょう。」と言うにもものすごく時間がかかる始末です。こればかりはひたすら読んで聞いて、話すしかありません。

そのため配属先の学校でもいきなり授業をするのではなく、モザンビーク人の先生の授業を見て、授業での言い回しを勉強しています。



チャレンジその2 「1クラス90人?!」

わたしが働くアルバジニ小学校は全校生徒4000人。尾崎小学校のおよそ10倍です。そのため学校に4000人が一度に入る広さはないので、学年で学校に行く時間を分けています。1から2時間目は高学年、3から4時間目は低学年という風입니다。

1クラス60から90人に授業はしたことないので、これはチャレンジになりそうです。

チャレンジその3「よ、読めねえ?!」

すみません、言葉を荒げてしまいました。左の写真を見てわかる通り授業で使うのはそう、筆記体。みなさんが習ってきたアルファベットはこちらではパソコン用の字なのです。日本でもパソコンの字と書く字は少し違いますよね。

ということで、小学1年生になった気持ちで、1年生の教科書で必死に筆記体の書き方を練習しています。

何かに挑戦している君に届け!

1年生の
ポルトガル語の教科書

